

平成30年度薬用植物園一般開放報告

蔵本技術部門 研究開発支援グループ

今林 潔 (Kiyoshi Imabayashi)

1. はじめに

徳島大学薬学部附属薬用植物園は昭和41年に薬学部学生の教育と研究を目的として設立された。敷地面積は約1万平方メートルで、現在、薬用植物や希少植物、研究用植物を中心に約800種の植物を栽培している。また、社会貢献の一環として園内を広く一般に開放することを平成7年から続けており、平成30年度は通算32回目の一般開放になる。

2. 概要

期間：平成30年10月15日(月)～19日(金)

場所：徳島大学薬学部附属薬用植物園

時間：9時～17時

用意したもの：

重曹 50g, クエン酸 25g, 片栗粉 25g, 水少々, 精油 10滴程度, クッキー型, 製氷機等

作成方法：

- ① 重曹・クエン酸・片栗粉 (2:1:1) を量る (入浴剤の重さ 100g の場合, 重曹 50g, クエン酸 25g, 片栗粉 25g)
- ② 袋に重曹, クエン酸, 片栗粉を入れ均一になるようによくかき混ぜる
- ③ お好みで食紅を加え, 霧吹きで湿らせながらしっとりするまでかき混ぜる
- ④ ③を入れ押し固める
- ⑤ 型に入れたまま半日ほど放置し, 乾燥

4. まとめ

毎年、一般開放の2週間前頃、各新聞社やNHK、四国放送テレビ等宛てに、自作の宣伝用チラシをFAX送信した後、告知電話をしている。また、今回初めての試みで、徳島県内の各ケーブルテレビ会社に、宣伝用チラシのFAX送信後の告知電話で、無料告知放送のお願いをしたところ、3社が情報掲示板等に配信してくれた。一般開放開催期間中は、NHKや四国放送テレビ、各新聞社からの取材があり、ニュース番組での放送や新聞記事(図1)となった。その結果、来園者総数が昨年より200名増の約900名であった。なお、来園者総数は平成29年度から三つ折り案内チラシ(図2)を来園者に配布することで、その配布数より割り出した。



図1 薬草園一般開放の告知と記事

3. 内容

園内研修室において、地域の方と美術サークルの方々による「一閑張り作品展と薬草画展」を開催した。また、同じ研修室で徳島大学薬学部生薬学研究室教員と学生による「アロマオイルで作る炭酸入浴剤の実演と製作体験」を開催した。

徳島大学 薬学部
徳島大学 薬学部
Medicinal Herb Garden
Faculty of Pharmaceutical Sciences,
The University of Tokushima
薬用植物園
Information of Medicinal Herb Garden

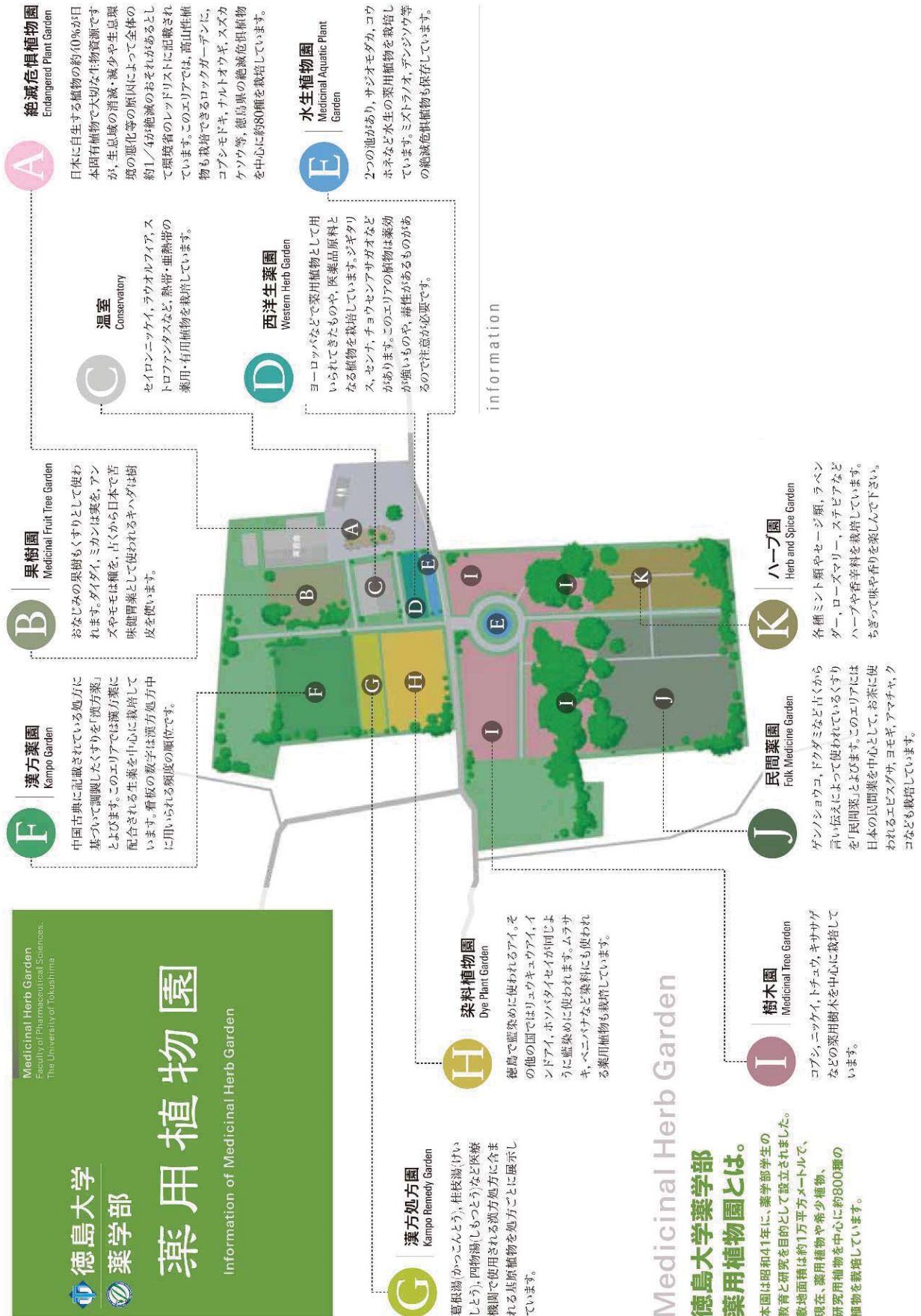


図2 来園者に配布した三つ折り案内チラシ